

作るだけが映画じゃない、観せてこそ映画である。

京芸 都造形 術大 映画祭

学生をナメるな!

vol.3

in 京都造形芸術大学 瓜生山祭

2009年11月2日(月)、3日(祝)

開場 13:00

開演 13:30

木村威夫監督「黄金花」上映

学生映画のコンペティション

京都造形芸術大学アカデミー賞授賞式

ゲスト

松坂慶子(予定) 川津祐介 あがた森魚

行定勲 萩生田宏治 他

会場 京都芸術劇場 春秋座

■主催

映画学科

映画祭実行委員会



学生の限界を今、超える

京都造形芸術大学映画祭とは、学生自ら企画・運営をし、日頃の力を最大限、皆様にご披露することによって、客観的なご支援またはご批評をいただきたいという試みです。

●11月2日

「黄金花」京都初上映 木村威夫監督 / 出演者トークショー あがた森魚 特別Live



「黄金花」80分
監督：木村威夫
出演：原田芳雄 松坂慶子 川津祐介 松原智恵子 他
学生出演者：澤井克幸 牧原友美 日野祥太 他

◎木村威夫(92歳) 映画監督

美術監督として200本以上の作品に携わる
最年長で映画監督デビュー
—美術監督作品—
「ツイゴイネルワイゼン」('80) 鈴木清順監督
「海と毒薬」('86) 熊井啓監督 他
—監督作品—
「夢のまにまに」('07) 他

<ゲスト>

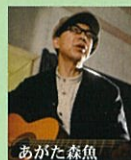
松坂慶子(予定) 川津祐介 あがた森魚 他



松坂慶子



川津祐介



あがた森魚

《あらすじ》

老人ホーム「浴陽荘」には多くの孤独な老人が暮らしている。その中の一人牧草太郎博士は人生の大半を植物学の研究に費やし、遊びも、酒も、女も、俗世間の全てを顧みずに生きてきた。そうして迎えた80歳の誕生日、小さな泉で黄金色に光り輝く妖しい花を見つけてしまう。その日を境に人生最期の旅がはじまる。

●11月3日

京都造形芸術大学アカデミー賞授賞式 ゲストによる受賞作品講評 和太鼓 恵^{シン} 公演(京都造形芸術大学サークル) 「buy a suit」上映(監督 市川準)

★京都造形芸術大学アカデミー賞とは？

全ての学生作品を対象としたコンペティションである！

学生が製作した作品を学生自らが鑑賞し評価することによって作品の質の向上を図り「観せることを意識した映画作り」を考える機会とすることを目指しています。

<ゲスト>

◎行定勲 映画監督

—代表作—
「GO」('01)
「世界の中心で、愛をさけぶ」('04)
「北の零年」('05) 他



行定勲

◎萩生田宏治 映画監督

—代表作—
「帰郷」('04)
「神童」('06)
「コドモのコドモ」('08) 他



萩生田宏治

京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学 人間館 1F)

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

○JR 京都駅から

→京都市バス5系統/岩倉行『上終町 京都造形芸大前』下車すぐ

○阪急 河原町から

→京都市バス3系統/上終町京都造形芸大前行『上終町 京都造形芸大前』下車すぐ

→京都市バス5系統/岩倉行『上終町 京都造形芸大前』下車すぐ

○京阪 出町柳駅から

→京都市バス3系統/上終町京都造形芸大前行『上終町 京都造形芸大前』下車すぐ

→叡山電車(京阪出町柳駅乗り換え)『茶山』駅より徒歩10分

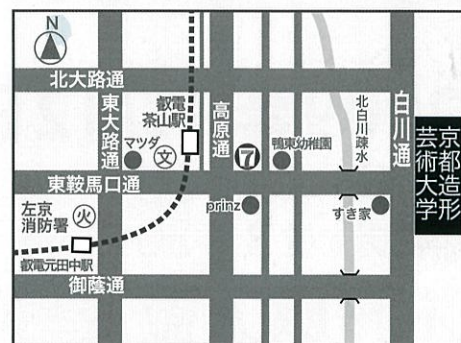
★問い合わせ先：京都造形芸術大学映画祭実行委員会 academy2009@live.jp

チケット発売日：8月24日～

★料金 一般 1000円 / 前売券 800円 / 通し券 1500円 / 本学生 500円 / 75歳以上無料 / 中学生以下無料
(身分証等、年齢の確認できるものをご持参ください。)



★プログラムの詳細は Web で！
→<http://www.kyozo-eigasai.com/>



※大学には駐車場がございません。
お車・バイクでの来場はご遠慮ください。

チケット取り扱い：京都芸術劇場チケットセンター
TEL：075-791-8240 人間館 1F (平日10時～17時)